

『みんなで支える 豊かな川路』の実現！

2023年（令和5年）7月5日

## 6/25（日）【川路フォーラム】開催しました

スローガン：『伝えよう水難の里の歴史を ～36 災から 62 年～』

テーマ：ハザードマップレベル2を正しく理解して、対策を真剣に考えましょう！！

## 講演Ⅰ 川路水防組合の歴史を振り返る

前川路水防組合 組合長 牧内幸雄 氏

本年1月に川路水防組合内部で発表された資料を基に、水防組合の苦難の歴史を紹介していただきました。

## 今回、勉強したこと。

- 1)昭和5年に結ばれた泰阜ダム建設に対する契約書は、当時の先輩方の意識が高く、現在の治水対策事業にも繋がっていること。
- 2)36 災後の『危険区域条例廃止』に絡んだ、松澤太郎氏（当時市長）への陳情書と回答が今も生きていること。
- 3)現在生活をしている土地（埋め立てた土地）は36 災の水位と同レベルであること（つまり、36 災レベルの出水があると越水してしまいます。しかし日本でもまれな完全土盛り堤防のため、堤防決壊は起こりにくい構造であり被害は最小限に留めることができます。）

## そして、今後は

- 1) この歴史を次世代に伝えていくことが大事であること。
- 2) 減災につながる河床掘削の継続が重要であること。

## 講演Ⅱ 36 災害再発の可能性

天龍川上流河川事務所 副所長 菊池五輪彦 氏  
天龍川上流河川事務所 流域治水課長 竹内昭浩 氏

## 大事な数値を確認しましょう

- ① S48年：天龍川水系河川整備基本計画では天龍峡地点での河道配分流量を4,500 m<sup>3</sup>/s としています。（基本高水のピーク流量：5,700 m<sup>3</sup>/s、ダム等による洪水調節流量：1,200 m<sup>3</sup>/s）
- ② H21年：天龍川水系河川整備計画は、当面30年の対応として天龍峡地点の河道配分流量を4,000 m<sup>3</sup>/s としています。（これは戦後最大規模の洪水対応を目標とし、天龍峡地点の目標を5,000 m<sup>3</sup>/s、洪水調節流量を1,000 m<sup>3</sup>/s とした結果です）
- ③ 現在天龍峡地点の河道配分流量4,000 m<sup>3</sup>/s は確保でき、実力は4,500 m<sup>3</sup>/s 有るとの見解です。
- ④ 美和ダム、小渋ダムの土砂バイパストンネルの川路への影響は河床上昇1mと想定しているとのことです。よって継続的に阿智川合流地点での浚渫を毎年5万m<sup>3</sup>実施して行くことで対応可能と考えているとの見解でした。浚渫のフォローと河床レベルの観察が重要になって参ります。
- ⑤ハザードマップのレベル1（L1）とレベル2（L2）について
  - L1：計画規模で100年に1回のレベル
  - L2：想定最大規模で概ね1,000年に1回のレベル・・実際は数万年に1回のレベルとのこと。
    - ➡よって、L2は最悪の場合の姿を知っていただくための情報であり、L2に対して具体的に対応を考えていただかなくても良いとの説明でした。（新公民館建設場所にL2地域を選定することは可能であり、水害時の避難所としてL2内の各区集会所を指定することは問題ないとの見解です。・・・数万年に1度のL2発生の場合は別対応要ですが・・）

## 大事な事は？

天龍峡姑射橋直下の河床レベルの継続観察と戸草ダム建設促進による安全余裕の確保と考えます。



水防組合が担ってきた、歴史にのこる実績を講演



大勢の参加で急遽椅子を追加

## 【グリーンバレー千代】環境保全委員会 研修

と き : 6月13日 (火)

場 所 : 飯田市最終処分場 グリーンバレー千代

施設概要 : 一般家庭からの『埋立ごみ』を処分する施設です。

使用期間は平成21年~令和17年度



目 的 : 川路から出た『埋立ごみ』が正しく分別されているか、  
『埋立ごみの組成調査』を行い、分別について勉強する。

内 容 :

- ・各家庭からだされた、8袋の『埋立ごみ』を袋から出して17種類に分類しました。
- ・出された『埋立ごみ』➡正しい分類の『リサイクルステーション』or『燃やすごみ』or『資源ごみ』or『プラごみ』に分けました。

ゴミの分別は難しいですね  
飯田市のガイドブック  
で詳しく教えてください！



結果は次号を楽しみに！

- ・感覚では『埋立ごみ』が多かったです。  
(後日、数値で報告をいただけます。\* \* %が正しく分類  
されていたと報告予定)
- ・この施設は今日現在で、47%まで埋まっています。

※施設の寿命を延ばす為、正しく分類をして出しましょう！



## 【ホタルの観察・勉強会】

と き : 6月17日 (土)

主催 : 教育育成委員会

内容 :

### ① ホタルの勉強会

講師 : 飯田市美術博物館 四方圭一郎 氏

四方さんは、川路の方です。

かわらんべでも講師をされて、この日も珍しいカエルを見つけたお話を聞くことができました。

〇×クイズでは、結果に子どもたちは、ヤッタネーと盛り上がりました。

### ② ホタルの観察

4区の宮ヶ洞沢川と留々女沢川で観察しました

熊谷直樹委員長から講師  
紹介と注意事項が説明さ  
れました



参加者 : 65名 (大人 : 40名 子ども : 25名)

教育育成委員会の皆さんによる夜警で、夜道を安心して歩きながら、ホタルの観察ができましたネ！



当日、留々女沢川で採取した【源氏ホタルの雄2匹】です！  
雄と雌の違い、ホタルが光るのは会話・・・教わりましたね  
留々女沢川では、沢山のホタルが舞っていました。ホタルの会話が聞こえたかな？

